



初任科第 97 期 初任科だより

消防学校ニュース vol. 4

～水中での救助訓練～

7月13日(月)、15日(水)、16日(木)の3日間を通して基本泳法、スキンドайビング、応急救助法について学びました。スキンドайビングでは、ほとんどの学生が5メートルという深さに慣れておらず、耳抜きをすることに苦労している学生が多くいました。

しかし、潜水や水難救助のプロフェッショナルである講師の方々が丁寧に御指導してくださったため、泳ぐことが苦手だった学生も、最後にはスキンドайビングができるようになっていました。

スローバッグやレスキューチューブを使った救助訓練では、水面の要救助者から常に目を離してはいけないという緊張感の中、学生たちは一度しかないこの貴重な機会を大事にし、少しでも自らの知識と技術を向上させようという姿勢で取り組みました。

～第2回野外訓練～

8月6日(木)から7日(金)にかけて、第2回野外訓練が行われました。「限界を超え、仲間と共に成長する。」というスローガンを掲げ、初任科第97期は富士マリンプールから、被災地と想定された静岡県消防学校に向けて日の入りと共に出発しました。この訓練は、日々の訓練の成果を発揮する場であり、学生たちがこれまでの努力の方向が正しいのか確認する訓練でもあります。被災地で助けを待つ人たちは、自分たちより遥かに苦しい思いをしていることを考えれば、決して足を止めることはできません。学生には、「この訓練を通して何を成長させ、何を得るのかを大切に、共に訓練をしてきた仲間と絶対に乗り越える」という強い意志が表れ、第97期は誰1人欠けることなく、静岡県消防学校に到着し、完歩することができました。

訓練終了後は、学生それぞれがまた新たな課題を見つけ、残り2か月の学校生活でその課題に真剣に取り組んでいくことを胸に刻みました。



発行日：令和8年8月31日

発行元：静岡県消防学校

制作：静岡県消防学校 初任科第97期 文化委員

大場 富貴(浜松)、渡邊 心(駿東)